

誠風中学校区小中学校目標：誰ひとり取り残さない学校

めざす学校像

- 安心・安全な学校
- 生徒が創る学校生活
- 生徒が主語の授業

めざす生徒像

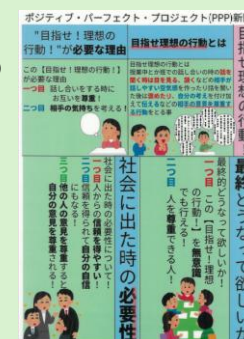
- 「自律」自ら考え、自分で判断し、自分で決定し、自ら行動できる力
- 「尊重」多様性を受け入れ、対話を通して対立やジレンマを解決する力
- 「創造」問題を解決するために情報や技術等を活用し、新たな価値を生み出す力

今年度の重点目標

自分ならどうするか、よりよくするにはどうするかを考え、**ポジティブ・アクティブに0から1を創り出す**

重点取り組み

- 【生徒】
 - ・「対話・尊重」で、自分たちの安心できる学校を、自分たちで創る
- 【教職員】
 - ・セキュアベースに基づいた「問い、対話、振り返り」による授業
 - ・「動き」のある道徳科授業と人権学習の充実
 - ・「生徒支援」の視点を学習へも導入した自己調整学習支援
- 【生徒と教職員】
 - ・生徒と教職員の対話による学校運営



目標達成のための具体的取り組み

数値目標

生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行くのが楽しい。 ・授業・班活動では、話し合いの際に話を聞くときは、目を見る・頷くなど相手が話しやすくなるようにしている。 ・授業・班活動では、自分の考えを伝える際は、相手の意見を尊重しながら行動をしている。 ・「ありがとう」と言われることが多くなるよう行動している。 	生徒アンケートにおいていずれも肯定的回答が95%以上をめざす。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、生徒が考えたくなり、思考が深まるような「問い」を設定する。 ・授業において、クラス全体やグループ等での「対話」の時間を設定する。 ・授業毎及び単元の振り返りを行う時間を設け、生徒が学習を振り返り、次の学習につながるような支援を行う。 ・授業において、生徒が安心して主体的に学べるような支援を行う。 ・生徒の話に耳を傾け、生徒と十分に対話する。 ・生徒に「どうしたの？」→「自分はどうしたい？」→「先生に何をしてほしい？」の3つの言葉かけで自己決定を促す。 ・生徒の自己肯定感・自己有用感が高まる「集団づくり」を行う。 	教員アンケートにおいていずれも肯定的回答が95%以上をめざす。